

クローバーだより

令和年6年度 第2号(R5.7月発行)
高齢者なんでも相談室
流山市中部地域包括支援センター

高齢者なんでも相談室 地域包括支援センターって？

- ・介護保険サービスを利用するにはどうしたらよいの？
 - ・家族が認知症になり、1人暮らしで心配。
 - ・介護の悩みや不安を共有できる人がいない。等々、様々な相談ができる窓口です。
- 訪問相談・来所相談行っています。まずは電話でご連絡ください。**

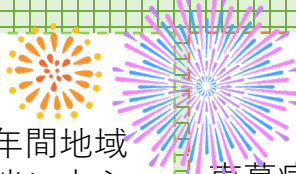


🍉 スタッフ退任にあたり

地域の皆様、関係機関の皆様、4年間地域の地域福祉について一緒に考え、伴に走らせていたき、人としても専門職としても成長の機会を頂きました。今後のために研鑽に努めてまいります。

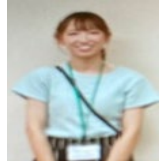


ありがとうございました
加藤 結花



🌸 新しいスタッフが着任しました！

東葛病院患者サポートセンターで働いていました。
影山聡美 (かげやま さとみ) と申します。
これから地域のことを知り、地域の皆さんの声にこたえられるようがんばります。
よろしくお祈りします。



🌸 コミュニティ会議を開催しました！

6/20常盤松中学校区、西初石中学校区で活躍される自治会役員や民生委員、NPO、行政の方、専門職の方と「流山市防災政策の現状を知り、地域でできる備えネットワークについて考える」をテーマに活動交流と意見交換を行いました。様々な地域の活動について相互理解が深まり、連携の輪も広がっています。



熱中症にご注意ください！

☑️ 予防法ができているかをチェックしましょう

<input type="checkbox"/> エアコン・扇風機を上手に使用している 	<input type="checkbox"/> 部屋の温湿度を測っている 	<input type="checkbox"/> 部屋の風通しを良くしている 	<input type="checkbox"/> 必要に応じてマスクをはずしている 	<input type="checkbox"/> こまめに水分補給をしている
<input type="checkbox"/> シャワーやタオルで体を冷やす 	<input type="checkbox"/> 暑い時は無理をしない 	<input type="checkbox"/> 涼しい服装をしている外出時には日傘、帽子 	<input type="checkbox"/> 涼しい場所・施設を利用する 	<input type="checkbox"/> 緊急時・困った時の連絡先を確認している

高齢になると特に

- ① 体の水分が不足しやすい。
- ② 暑さに対する感覚機能が低下する。
- ③ 暑さに対する体温の調節機能が低下する。

などの理由から、熱中症のリスクが高まります。

暑い日が続きます。体調にお気をつけてお過ごしください。



中部地域包括支援センターのあいことば

「元気で 生き生き 安心 流山」

1. 中部地域にお住いの高齢者の方とそのご家族の方の身近な相談窓口を目指しています。
2. 地域の民生委員や自治会の皆様、医療・福祉・行政機関などと協働し「地域ぐるみの支え合い」を目指してネットワークづくりを行っています。



お知らせ

えがおの談話室

毎月第4金曜日 13:30～

場所：若葉台3-131

包括スタッフがふれあいの家「えがお」におじゃまして体操や介護の相談を行っています **※ご連絡下さい。**

中部地域認知症の方の家族の会
「クローバーの会」

偶数月に初石公民館で開催しています
お話しに来てみませんか
次回： 8月10日（土）10月10日（木）
※要申し込み

「まちかど教室」

健康づくりや介護保険制度など、
地域住民の方へ向けた簡単な講座
を開催しています。

まずはご相談ください

認知症サポーター養成講座

認知症になっても安心して暮らせる街
づくり、地域全体でサポートする体制
づくりのために、認知症を知り理解を
深める講座を自治会や学校、職場など
に向けて行っています。

講座開催、受講などご相談ください

高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）とは、
高齢者の総合相談窓口として、市内5か所に設置されています。
保健師（又は看護師）、主任ケアマネジャー、社会福祉士が
おり、医療や福祉・介護等の相談に対応しています。

高齢者なんでも相談室・流山市中部地域包括支援センター

電話：04-7150-2953 FAX：04-7158-8419